

立命館経済学

第十六卷 第三・四号

昭和四十二年十月

『資本論』100年記念特集号

論 説	内 容	
	『資本論』初版以後とその各国における普及状況……	長谷部文雄 1
	『資本論』の周辺……	相澤秀一 26
	現代の恐慌とマルクス恐慌論……	小椋広勝 49
	初期マルクスの経済理論について……	岡崎栄松 78
	——『経済学=哲学手稿』を中心として——	
	帝国主義論……	小野進 122
	——シュンペーターとレーニン——	
研究ノート		
	法学と経済学との中間領域にある若干の問題	
	(その一) ……	梯明秀 135
	——藤田勇氏の論文「法と経済との一般理論」に ついての部分的紹介とそれについての備忘録として——	
資 料		
	駱耕漠『資本論』第一章第四節の要点と疑問に ついての試論 ……	松野昭二 159
	——(『経済研究』誌1963年第5期)——	
書 評		
	手島正毅教授著『日本国家独占資本主義論』 ……	豊崎稔 181

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十六卷・第一号

論説

戦後炭鉱労働運動の展開過程(1)……戸木田嘉久
A・スミス、D・リカアドオ、J・S・ミル
における租税理論の展開 V……箕浦格良
——古典学派における財政思想(14)——

資料

商業都市の市民所得………建林正喜

書評

内田義彦『資本論の世界』………岡崎栄松
学界動向・共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第十六卷・第二号

論説

金融資本における信用と国家………小牧聖徳
社会主義的分配関係の
本質について二………小野一郎

資料

フレット・エルスナー「独占価格と独占利潤」
キム・スンジュン『農地改革』後の南朝鮮農業政策
——南朝鮮における農地改革——

書評

今堀誠二著『毛沢東研究序説』………松野昭二
共同研究室

発行所 立命館大学経済学会